

平成17年度研究ステーション研究成果報告書

1. 研究ステーション名・代表者名

Social Informatics (社会情報学) 研究ステーション

太田敏澄 大学院情報システム学研究科

2. 平成17年度の研究の特筆すべき成果

社会情報システム学研究会, 経営情報学会社会情報と情報組織化研究部会, 日本社会情報学会環境情報研究部会と共催で, 2006年1月27日(金), 本学大学院情報システム学研究科棟において, 第12回社会情報システム学シンポジウムを開催し, 同学術講演論文集を刊行した.

また, 今回の学術講演論文集については, 研究発表論文の和文抄録, 英文抄録が, 科学技術振興機構のデータベース(JDream IIのJSTPlus)に採録されている.

なお, 同シンポジウムの参加者募集案内および学術講演論文集の目次を資料に示す. また, <http://www.isslab.org/ISS/> に第12回社会情報システム学シンポジウムの項に掲示している.

3. 平成17年度の研究成果の公表実績(主催した研究会, 研究成果の発信状況等)

第12回社会情報システム学シンポジウム共催

4. 外部資金の獲得状況

なし

5. 今後の研究発展(外部への発信, 外部資金獲得計画を含む)

2006年1月 第13回社会情報システム学シンポジウム開催予定

6. 代表的なピアレビュー論文発表, 学会プレナリ, 招待講演発表, 特許出願, 受賞等 ピアレビュー論文

諏訪博彦, 山本仁志, 岡田勇, 太田敏澄,

環境配慮行動を促す環境教育プログラム開発のためのパスモデルの構築,

日本社会情報学会誌, 第18巻, 第1号, pp. 59-70, 2006.03.

梅原英一, 太田敏澄,

リスク情報開示ゲームの提案—行政のリスク情報開示と住民の満足化に関するゲーム理論による分析,

日本社会情報学会誌, 第17巻第2号, pp. 35-49, 2005.09.

Yamamoto, Hitoshi, Kazunari Ishida, and Toshizumi Ohta,

Promotion of Cooperative Behavior in C2C market: Effect of Reputation Management System,

in T. Terano, H. Kita, T. Kaneda, K. Arai et. al. (eds.), Agent-based Approaches in Economic and Social Complex Systems, Springer-Verlag, pp. 48-57, 2005.08.

Yamamoto, Hitoshi, Kazunari Ishida, and Toshizumi Ohta,

Temptation and Contribution in C2C Transactions: Implications for Designing Reputation Management

Systems,
in Rino Falcone, Suzanne Barber, Jordi Sabater-Mir, *et al.* (eds.),
Trusting Agents for Trusting Electronic Societies: Theory and Applications in HCI and E-Commerce,
Lecture Notes in Computer Science, Vol. 3577, Springer-Verlag GmbH,
pp. 218-234, 2005.07.

ピアレビュー論文発表

Isamu Okada, Shinichiro Miyazawa, Kazunari Ishida, Nobuhiko Shimizu, and Toshizumi Ohta,
Quality Analysis of Patent Parallel Corpus by the Scale,
Proceedings of Workshop Patent Translation, MT Summit X, pp. 29-34, 2005.09.

招待講演

Toshizumi Ohta,
Japanese Experience for Developing System in Coping with Disaster and Emergency Situation,
Symposium on Development of Emergency and Disaster Communication and Information System, Jakarta,
Indonesia, 2006.03.

Toshizumi Ohta,
Auto-Genesis Paradigm and e-Community,
International Symposium on Social Informatics Panel “City and Information”,
Social Informatics Fair 2005, 2005.09.

以上

<資料>

第12回社会情報システム学シンポジウム

参加者募集

主催 社会情報システム学研究会

共催 経営情報学会 社会情報と情報組織化研究部会

日本社会情報学会 環境情報研究部会

電気通信大学 Social Informatics (社会情報学) 研究ステーション

社会情報システム学研究会では、2006年1月27日(金)に、第12回社会情報システム学シンポジウムを、経営情報学会「社会情報と情報組織化」研究部会、日本社会情報学会「環境情報」研究部会、電気通信大学 Social Informatics (社会情報学) 研究ステーションと共催にて、開催する予定です。

本シンポジウムでは、特別講演を行いますとともに、社会情報システム学に関する最先端の研究発表を公募いたしまして、採用の論文につきまして、学術講演論文集を発行いたします。また、学術講演論文集に掲載された論文の和文概要および英文概要は、科学技術振興機構のデータベース(JDreamのJSTPlus)に登録します。

ご関心のあります多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

記

日時：2006年1月27日(金) 10:30～17:30

会場：電気通信大学情報システム学研究科棟2F, IS-233, IS-215

(〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1,

京王線：調布駅(北口)下車、徒歩9分,

大学ご案内図 URL <http://www.uec.ac.jp/acc/map.html>

キャンパスご案内図 URL <http://www.uec.ac.jp/acc/campusnai.html>

プログラム：

10:30～12:00 一般セッション講演

12:00～13:00 休憩

13:00～16:15 一般セッション講演

16:30～17:30 特別講演 根本敏則(一橋大学大学院商学研究科教授)

「ユビキタス時代の課税のあり方

—高速道路衛星課金などを事例として—

(会場：情報システム学研究科棟2F, IS-233)

懇親会：18:00～19:30 ハルモニア(大学会館3階, 学内)

なお、一般セッション講演のプログラムは、

<http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/iss12th.html>

をご覧ください。

目次

<はじめに>

社会情報システム学研究会 代表 太田敏澄

<特別講演>

- 「ユビキタス時代の課税のあり方-高速道路衛星課金などを事例として-」 . . . 1
一橋大学大学院商学研究科教授 根本敏則

<一般セッション講演>

【セッション1】制度設計 **座長 遠藤 薫 (学習院大学)**

デジタルコンテンツにおける社会的便益を最大化させるための DRM の最適設計 . . . 21
金野和弘 (科学技術振興機構), 近勝彦 (大阪市立大学)

学会活動における集合的意思決定のための電子投票システムの設計 . . . 27
細野文雄, 富山慶典 (群馬大学)

不法投棄防止における情報システムの活用-日本と台湾の事例の対比を通じて- . . . 33
林敬三 (名古屋産業大学)

【セッション2】社会分析 **座長 富山 慶典 (群馬大学)**

ネットワーク構造が協調的な取引関係に及ぼす効果 . . . 39
石田芳文 (電気通信大学), 山本仁志 (立正大学), 岡田勇 (創価大学),
太田敏澄 (電気通信大学)

地域自治体の内発的発展促進意欲と行政情報化の経済効果
—都道府県データを用いた実証分析— . . . 45
後藤玲子 (茨城大学)

【セッション3】地域政策 **座長 熊田 禎宣 (千葉商科大学)**

地域マネジメント基盤としての Net-Centric TTP の構想 . . . 51
須藤修, 上山晃 (東京大学)

観光情報システムの最適化の理論 . . . 57
—情報の非対称性の理論を応用して観光エージェントの意義と課題を解く—
西堀俊明, 近勝彦 (大阪市立大学)

生活圏における地方公共図書館のビジネス利用に関する実証研究 . . . 63
住田友文, 嶋崎真仁, 岸川善紀 (秋田県立大学)

【セッション4】教育・意思決定	座長 松井 啓之（京都大学）	
「住民による意思決定」の支援と情報・討議・決定 岩井淳，小竹裕人，富山慶典（群馬大学）	・・・	69
参加者の合意に基づく文書隠蔽機能をもつコミュニケーションシステム 佐渡一広，岩井淳（群馬大学）	・・・	75
環境教育プログラム開発のための比較実験 諏訪博彦（電気通信大学），山本仁志（立正大学），岡田勇（創価大学）， 太田敏澄（電気通信大学）	・・・	81
【セッション5】地域の事例	座長 木谷 忍（東北大学）	
新潟県中越地震における川口町消防団の震災対応活動 六十里繁（千葉商科大学）	・・・	87
ライフスタイルの変化と読書離れに関する一考察 住田友文，嶋崎真仁，高橋知美（秋田県立大学）	・・・	93
【セッション6】経営	座長 須藤 修（東京大学）	
中古自動車価格と広告出稿を用いた自動車販売台数の分析 山口桂，山田孝子，加藤憲一（電気通信大学）	・・・	99
マッチング・ビジネスの展開と薄れ行く企業境界 税所哲郎（関東学院大学）	・・・	105
財務報告に係る業務プロセスの内部統制 －ITを利用した統制とモニタリングの方法－ 石島隆（大阪成蹊大学）	・・・	111